

# 日本語を母語としない人に わかりやすい日本語で伝えましょう。

TNVN 梶村勝利

**私**たちは、外国人との出会いや交流が日常的になっています。外国人とどんな気持ちで接していますか？

よく、日本人は「親切です」「優しいです」と言われます。でも、伝えたいこと、知らせたいことが、ちゃんと相手に伝わっているか、考えて対応をしていますか！

**多**くの外国人が訪れる場所では、案内放送や掲示が英語・中国語・ハングル(以下多言語)でされているのを、よく聞いたり、見かけたりします。自治体の広報や正式ホームページは多言語対応で情報提供がされています。

**最**近は、多くの東南アジア諸国の人達が来日し、私たちの地域で日常の生活をしています。その中には多言語がわからない人たちも増加しています。

**ボ**ランティア日本語教室には、世界各地から来た人達が日本語を学び・交流を楽しんでいます。最近では中国・韓国に加え、東南アジアからの人達が増えています。生活者にとっては、時間や費用の制約があり、ボランティア日本語教室での学びが唯一の場となっています。そして交流の場にもなっています。

**日**本での生活には、まず**日本のことば**を学ぶのが必要と考え、入門・初級から学びを始めます。そして中級に進むのですが、なかなかそこまで到達するにはかなりの努力が必要です。出来るなら、**わかりやすい、やさしい日本語**を身につけたい!!

**日**本人が使う日本語をどの程度「やさしい日本語」にすれば、私たちが外国人に提供する情報を、

一人でも多くの外国人に伝えられるのか。考えてみましょう。

➡うした観点からTNVNIは、「わかる日本語」研究会を立ち上げ、日本語ボランティア活動の経験から**日本語を母語としない人たちにとって、わかりやすい日本語**を考え、生活に関係のある日本語を「わかる日本語」にリライトする検討をしています。

TNVN Network Newsで「わかる日本語」についての記事を掲載しています。

始めに参考にしたのが、弘前大学社会言語学研究所から報告されていた、『「やさしい日本語」が外国人被災者の命を救います。』『「やさしい日本語」作成マニュアル』です。

**3**・11の大震災・原発事故発生時は多言語の一つとして「やさしい日本語」での情報発信がされて、多くの外国人にとって大きな心の支えとなったことでしょう。

**そ**の後2年経た現在、各地の自治体・国際交流協会では多言語化の限界もあり、「やさしい日本語」への取り組みが行われ、講演会・講習会も開催されています。NHK NEWS WEB EASYはニュースを「やさしい日本語」にして、伝えています。

**ボ**ランティア日本語教室でも、日本語を教えるだけでなく、私たちボランティア自身が「やさしい日本語」「わかる日本語」で伝えることの大切さを、もう一度認識し、使うよう努力してください。

「やさしい日本語」への取り組みは、防災から生活情報へと広がっています。

最近の事例を紹介しますので 学習支援の場で活用しては、如何でしょうか。

**事例**

- 「わかる日本語」研究会 報告  
“日本語を母語としない人たちにとって わかりやすい日本語文にリライトする”  
東京日本語ボランティア・ネットワーク(TNVN)  
[http://www.tnvn.jp/information/pdf/wakaru\\_nihongo.pdf](http://www.tnvn.jp/information/pdf/wakaru_nihongo.pdf)
- <増補版>「やさしい日本語」作成のためのガイドライン  
弘前大学人文学部社会言語学研究室

- <http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/ejgaidorain.html>
- まずは、「やさしい日本語」で話してみよう!  
栃木県・公益財団法人栃木県国際交流協会  
<http://tia21.or.jp/new/yasashiinhongo/yasashiinhongo.html>
- 「やさしい日本語」の作成手引き～外国人に伝わる日本語～  
愛知県地域振興部国際課他文化共生推進室  
<http://www.pref.aichi.jp/kokusai/tabunka.html>



# とばたらならって 何でしょう

日本語教師 金子 広幸

「とばたらなら」まるで呪文のような言葉ですが、これは日本語教師なら(なら!)みんな知っている言葉です。日本語の条件節にこの4つ「と、ば、たら、なら」があって、初級の多くの教科書には、このほとんどが出てくるのですが、それぞれの使い方には微妙な差があるのです。

学生さんたちは、自分の言葉と比べて、それがどれにあたるか考え、教師に問います。

「あなたが行くなら私も行きます」と  
「あなたが行ったら私も行きます」と  
どこが違うの?

と質問してきます。

あしたのパーティーに行くかどうか相談している場面を想像すると(と!)、この発言をしている人がパーティーの会場に到着している時間が違うのではないのでしょうか。つまり、前者は先に行って待っている可能性があり、後者は相手が会場に到着することがある程度確実になったら、この人も出かけていくというようなニュアンスがあります。ね?難しいでしょう?

初級の段階では使える言葉も少ないので、教師はこんな質問を受けたら(たら!)、いったいどう答えたら(こどもたら!)いいか困ります。この「とばたらなら」、本当に教師泣かせなのです。

中国語と比べてみても、学生さんが

聞きたくない気持ちがわかります。

中国語では、上記の文意に近い翻訳として、

「你来的话,我就来。」

訳/你【あなた】来【来る】的话,我【わたし】就【すぐに(日本語には反映されない)】来【来る(ときどき日本語の「行く」に対応)】

というふうに言葉が並んで、「あなたが来るなら(来たら)私も行きます」となるのですが、中国語には日本語と同じような時制の表現がないので、日本語のように「たら」と「なら」を区別することはありません。中国語圏の学生さんたちも混乱したまま、初級を卒業しているかもしれないのです。

もっとややこしいことに、日本人はこの「と、ば、たら、なら」以外にも、「たらば」「ならば」「とすれば」「とすると」などと組み合わせたものも使っています。母語話者としてこれを整理しようと考え始めると(と!)大混乱!

日本にいる学生さんも、日本人の口から様々なバリエーションが出てきて、さぞや混乱することでしょう。

今は教師用にはいろいろな参考書が出ていていいのですが、ボランティアの皆さんがざらっと概観するなら(なら!)、『みんなの日本語II教え方の手引き』の、【と】【たら】【ば】の記述が単純明

快でいいと思います。

『みんなの日本語』を使わないで初級を教える時でも、また中級以降になって「とばたらなら」を復習するということになっても、私はこの「とばたらなら」をこんな順番で扱うことにしています。

- まず「と」。教えるときにキーワードを使うとしたら「いつも」とか「毎日」という言葉があげられ、状況も設定しやすくわかりやすいのです。そして、なにより、「道案内」「機械の使い方」など、相手に何かを提示するときに使える表現なので、学習者の意欲を駆り立てます。
- そして「たら」。なんとといっても使用範囲が広いので、『迷ったら(たら!)「たら!』と言っています。
- そのあとは、「たら」と同様の用法の「なら」【「あした雨が降ったら」の意味の「あした雨なら」など】に触れてから、「なら」の特別な用法「相手の話を受けてアドバイスする」の練習をします。「デジカメを買うなら池袋がいいです」というような文です。
- 最後に「ば」。ここでは、いわゆる「反実仮想」から入ると進めやすいです。そして「その条件が整えば(ば!)、何かができる」という設定にします。

最近シェアの高い人気教科書『中級へ行こう』では、81ページに「と・ば・たら・ならの整理」という項目があって、



このレベルの学生さんが覚えやすい代表的な例文が4つかわいらしく準備されています。

- まっすぐ行くと、駅がある。
- 機会があれば、留学したい。
- 夏になったら、国へ帰る予定だ。
- 物を買うなら、フリーマーケットと決めている。

そして、それに付随する87~88ページの練習問題も「深い淵にはまらない程度の例文」にとどめられています。

私の中級前期のクラスでの活動を

ご紹介しましょう。

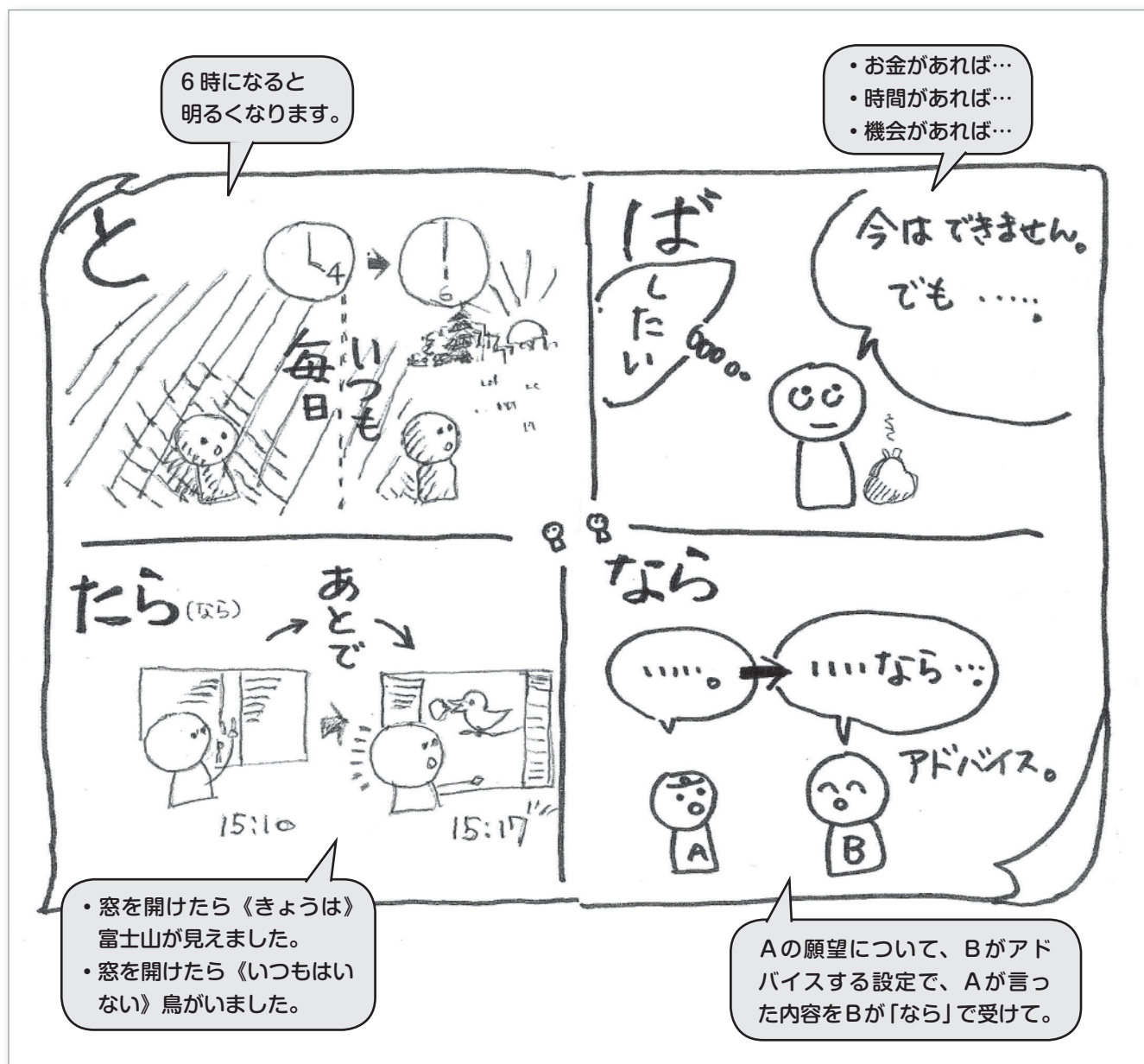
まずご覧の絵の中に要点をまとめてみました。この紙は「とばたらなら」のイメージを反映し、キーワードを書き込んだものです。そして、クラスで活動をしている間は、紙を4分の1に折りたたんで、今練習しているところを学生さんに見せながら、それぞれ例文を立ててみる活動をしました。

概念が学生さんの中で定着したら(たら!), またこの「4分の1カード」を見せながら、文の前半を私が言って、後半を学生さんに作ってもらう活動をしました。

たとえば、

「と」の部分を見せて、「窓を開けると?」と問うと(と!), 学生さんが「遠くに富士山が見えます」などと言うわけです。そのあと、「毎日?」と問うと(また、と!), その学生さんは、「天気が良ければ(ば!)」と付け加えたりしました。

文中にたくさん「とばたらなら」があったでしょう?これほどまでに使う条件節の表現なのです。私の学生さん、いつかこの絵を思い出しながらどこかでちゃんと「とばたらなら」が使えていたらいいなと、いつも祈っている私です。



# ひらがなの教材

まちだ地域国際交流協会／町田市 飯田 綾乃

私はまちだ地域国際交流協会（MIFA）の親子クラスで支援をしています。親子クラスは外国人の母親が未就園児連れで参加することができるクラスです。私は支援を始めて6年になりましたが、この6年でひらがなが全く分からない学習者の支援をしたのはたった1度だけです。限られた経験ではありますが、同じ境遇の支援者の方々への良い情報提供になればと思っています。

彼女はアフリカ大陸にある国から来ました。自国で日本語教育を受けることができなかったため、ひらがなもカタカナも全く読めない状態でした。幸い彼女の国の公用語が英語だったため、片言の英語を使いながらの支援となりました。

まず私が最初に用意したのはひらがな・カタカナ表です。そしてその表に私はこだわりました。なぜなら字体によって文字の形が変わってしまうからです。

例えば「さ」という文字。パソコンなどで明朝体やブロック体で表記された「さ」はまるで「ち」という文字が鏡文字のようにになったように書かれていることにお気づきでしょうか。しかし学習者の中には最初に「さ」で覚えてしまい、あとから直そうとしてもなかなか直せないという話を聞いたことがありました。そこで日本の子供が義務教育で習うのと同じ字体（教科書体）を利用しようと考えました。

教科書体で書かれたひらがな・カタカナ表を探すのは思いのほか大変でした。ようやくインターネットで「知

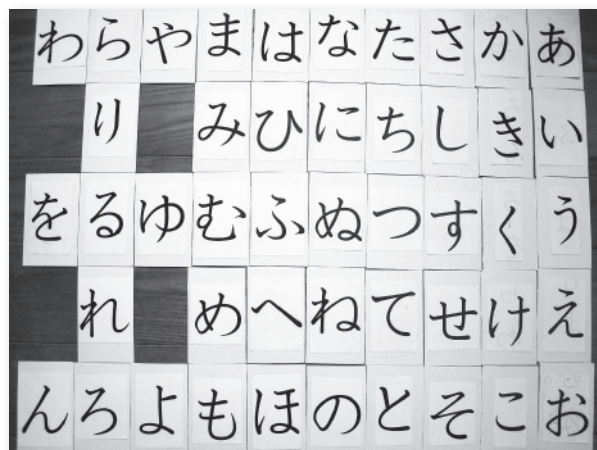
恵あそび&子育てわあるど」<http://www.sakunet.ne.jp/~hayakal/> サイトの『ひらがなカードで遊びながらお勉強しよう！』にあった教科書体ひらがなカードを見つけ利用しました。

学習支援の際には、表（絵入り）を拡大しカード状にしたものを作成。裏面は自作（文字のみ）を作成。カードを使用し、バラバラにした状態で1文字を読む練習。音を聞いてその文字のカードを選ぶ練習などをしました。

当時はテレビが地デジ化されるときでした。ある程度読めるようになったとき、彼女が自宅のテレビ画面右上に「アナログ」と書いてあるものが読めるようになった！と嬉しそうに話してくれたことが印象的でした。

一番嬉しかったことは、書く練習が始まった際、彼女は私が気を遣って選んだ教科書体のフォントの文字をそのまま覚えようと、ハネ・トメ・はらうをきっちり書いて覚えようとしてくれたことです。当時小学校低学年の私の娘より、彼女の文字の方がずっと綺麗だったことが、今でも忘れられません。

一番初めに覚えなければならない基本的な文字だからこそ、正しく効率よく学んで欲しいと思っています。そのために今後もインターネットを始め、たくさんのフリー教材や支援者同士の情報交換をうまく利用し、学習者に還元していけるような支援を続けていきたいと思っています。





# ハラールフード HALAL FOOD



「ハラールのシール」を貼った羊肉

「名古屋場所(7/7~7/21)で、新十両、エジプト出身の大砂嵐が、ラマダン(注)のため日中食事ができないにもかかわらず、見事勝ち越した。」このニュースは、国際的になっている相撲の世界とはいえ、特に耳新しく感じました。相撲部屋では、敬虔なイスラム教徒の大砂嵐のために特別なちゃんこを作っているそうです。そこで、イスラム教の人々の食文化について知りたいと、新大久保へ取材に出かけました。



店内の様子とライハンさん

新大久保駅から大久保通りを渡った百人町の一角には、イスラム教徒のためにハラールフードを扱う食品店が5~6軒あります。私たちは、その中の1軒「THE JANNAT(ジャンナット)」を訪ねました。店主のライハンさんは、2002年にバングラデシュから来日し、日本語学校で日本語を学んでから、2007年にジャンナットを開店しました。ビルの3階の1室からスタートし、現在の店を構えるようになるまで、保健所から注意されてガラス戸をつけるなど、色々な苦労があったとのことでした。

店は20畳ぐらいの広さで、棚には何種類もの豆や香辛料、米、缶詰などが整然と並び、冷凍ケースには大きな肉の塊がたくさん入っています。商品は、トルコ、パキスタン、ミャンマー、ベトナム、タイ、バングラデシュ、チュニジア、ナイジェリア、ブラジル、オーストラリア

など世界各地からの輸入品で、お客さんは、南アジアやアフリカの人たちが多くいます。

私たちがいる間、韓国人や日本人、バングラデシュ人などが買物にきましたが、ライハンさんは日本語、英語、ベンガル語など様々な言葉を使って、お客さんの相手をしていました。そ

の合間には、私たちの質問にも流暢な日本語で応えてくださいました。

私たちの質問の中心は、ハラールフードについてでした。

イスラム教徒は、イスラム教の法により、豚肉は絶対に口にできません。その他の肉も決められた方法で処理されたもの「ハラールフード」でなければ食べることができません。食用にする牛、羊、山羊、鳥などは、神の名を唱えながら、苦しませないように、血を抜いて殺します。このように処理された肉にはハラールフードを示す小さいシールがついています。なお、屠殺をするための資格や道具の制限は特になさそうです。また、虎のような猛獣、鷲、鷹のような猛禽類、カラスなど

は食べると悪い気が移るので禁止です。また、魚は食べてよいが、凶暴なサメ、フカなども禁止です。そのほか、油は植物性のもの。お茶などの飲物、野菜には制限がありません。お酒は厳禁です。

私たちが伺った日は、ちょうどラマダンの最中だったので、ライハンさんは日没まで飲食せずに働くとのことでした。「お酒はのみません。たばこも吸いません」という真面目なイスラム教徒のライハンさんは、日本社会の一員として頑張っています。

(注)ラマダン…イスラム暦の第9月の名前。イスラム暦は毎年11日ずつ早まる。今年のラマダンは7/10から8/7まで。イスラム教徒は義務のひとつとして、ラマダンには日の出から日没まで飲食を断つ。

(取材)岡田美奈子、林川玲子、山本英子



ハラールフードの店



「かけはし」の活動開始は、今から26年ほど前の1987年6月1日です。その前年の1986年6月18日、区の日本語ボランティア養成講座に参加した有志によって創められたと聞いております。現在、区内のボランティアグループ20箇所のうちでも、最も歴史のあるもののひとつです。

運営方針としては、ボランティアも学習者も自由参加「来る者は拒まず、去る者は追わず」の精神です。

また、学習方針としては、「教える人は、各自、持ち味を生かして教授する。」「学ぶ人は、それぞれの目的を持って、日本語を習得していく」です。

## 会員団体紹介

# Nice to Meet You

西武池袋線の大泉学園駅近く、あるビルの2階の一室に夜になると外国人が集まってきます。ここはわたしたち「にほんご友好会」の勉強の場。日本人と外国人学習者が木曜日の6時30分から8時まで、熱っぽく時には笑いながら楽しく日本語の勉強をしています。

わたしたちボランティアは練馬区の「ボランティア養成講座」で教え方の基礎を学び、終了後も各自で技術を磨き学習者のお手伝いをしています。今日までこの教室を巣立った学習者の数は約800人。日本の大学を卒業後日本の企業に就職し、あるいは母国で日本語を生かした仕事をしている学習者もいます。また、日本語で会話

■ボランティアも学習者も自由参加「来る者は拒まず、去る者は追わず」

## かけはし (足立区)

坂本 弘一

基本的には、ボランティアと学習者は、1対1の学習方法です。ただ、初級者と上級者クラスは、グループ学習をしています。

「かけはし」には、いろいろな特技や知識を持ったボランティアがいて、学習者の抱えている問題等の相談にのっています。

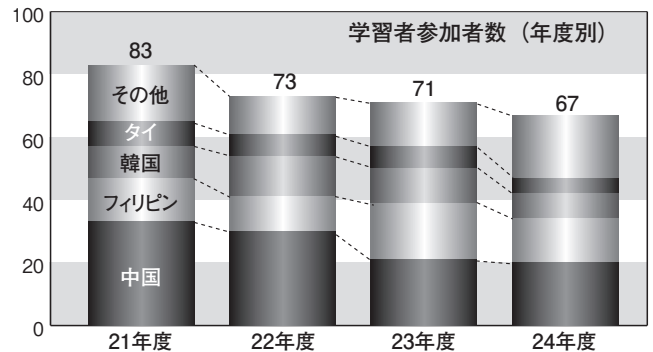
学習日は、原則、月曜日の午前10時から12時までです。家庭の主婦がほとんどです。お子さん連れの方もいますので、保育室用を用意してあります。

2年前の震災の後の学習対応は、大変でした。約1ヶ月強、学習室が使えなかったのです。そこで、みんなの安否確認と今後の対策のため、お花見をしました。

そして、個別対応で学習を続けました。しかし、学習者の集ま

りは、いつもの半分ぐらいの10名ほどでした。特に中国の方々の集まりが悪かったです。これは、原発の問題がかなり影響した模様でした。しばらく学習者の集まりは悪いものでしたが、6月中頃より震災以前に近づきました。現在でも完全には、戻っていない状況です。参加状況は、別図を参考にしてください。

これからも、ボランティアと学習者の居場所になるような「かけはし」を運営できればと思っています。



## nice to meet you

■ふりかえれば22年。教え教えられて

## にほんご友好会 (練馬区)

飯野やすこ

ができるようになって「友達が増えた」「学校からの手紙が読めるようになった」などの便利も聞きます。学習者は一日も早く日本語を学ぼうと必死です。慣れない場所でも不安もあるだろうと、勉強だけではなくゲームや日本と学習者の国の文化・習慣なども紹介あいます。そして月1回のお茶会、年2回のポットラックパーティーを楽しみます。さらに教室を離れてお花見、ハイキングなどでリフレッシュ。

このように日本語上達のお手伝いをしていて初めは苦勞することもありますが、いつの間にか学習者が日本語で会話して

いる光景を見聞きすると、ボランティアって悪くないと思います。また、上級者のするどい質問にたじたじとなり、もっと勉強しなければと反省することもしばしばです。日本人と外国人の違いはあるけれど目標は同じ。

学習者たちが発信する言動は私たちの知識になり、力を与えてくれます。





## 学習者の声

# 目標は日本語で読書です

ユインヨンラッタナクル ナリン／タイ  
多摩市国際交流センター(TIC)／多摩市

‘Sawasdee Ka’ この言葉はタイ語の挨拶です。私はナリンと申します。タイ人です。主人もタイ人で、もう15年ぐらい日本にいます。京都大学を卒業し、今も日本の会社で働いています。私は来日4年目です。日本に来てずっとTICで日本語を勉強しています。タイで日本語学校に通っていました。10年前初めて旅行で日本に来た時、日本語が全然分からなかったからです。

その時、私は東京駅に、どうやっていか日本人に英語で聞きました。みんなは逃げました。けれど、最後に若い女の人が東京駅に行くところだということで、いっしょに行ってくれました。私の待ち合わせの場所を彼女は知らなかったの、駅員に聞いて、私をその場所に連れて行ってくれました。私はすごく感動しました。今でもよく覚えています。日本人は優しいですね。

そのあと、主人に会うため、年に一回日本に来るようになり、日本語を勉強し始めました。当時、私の仕事はタイ語と英語で、日本語を使う機会がなかったのですが、日本の歌を聴いたり、

日本のドラマや映画を見ていました。結婚した後、来日しましたが、テレビを見ても、買い物にしても、店員さんが何を言っているか、全然分かりませんでした。今は大分わかります。私が話すと日本人はよくびくびくした顔をします。私を日本人だと思っていたら、話すと外国人だと分かるからでしょう。最近はもう慣れました。

TIC からいろんなチャンスを貰いました。タイ料理を教えたこともあります。タイ語を教えています。今年でタイ語のクラスはもう3年目です。学生のみなさんはすごく頑張っています。自分は日本語を頑張らなければならないと思います。今、私の目的は日本語が主人のように上手になり、いろいろな日本の本が読めるようになることです。これからもタイ語クラスと日本語を頑張ります。



# 日本語ボランティアの現場から

## ボランティアの声

奥田 順子

多摩市国際交流センター(TIC)／多摩市

# キーワードは「熱意」と「知恵」

多摩市国際交流センター(TIC)は創立20年、日本語教室は3か所、5クラスで活動しています。去年の10月からボランティアとして加わりました。私は長年、大学進学を目指す留学生の日本語教育に携わってきました。国籍は多様で、教授法は日本語のみで教える直接法です。今回、個人教授に等しい教え方は初めてで不安の中のスタートでした。

クラスは1週間に一回、2時間だけです。学習者が休むこともあります。教えたいことは山ほどありますが、教えるというより、寄り添って学習の支援をしようと考えています。教授法も決まったものはないでしょう。一人或いはごく少人数の学習者を担当するので、そのニーズを把握しそれに沿う支援ができます。主導権は学習者にあると言っていいでしょう。

支援者が日本語教授について知っておかなければならないことは多々ありますが、肝心なのは支援者の熱意と知恵に尽きると思います。知恵が回らなければペンディングにして次回にクリアな回答をする。分かりやすい説明は短いほうがよいと思うからです。

最初に担当した学習者は若いブラジル人女性で、日本語はほとんどゼロ、ポルトガル語以外は英語もほとんど解さない。「みんなの日本語」のポルトガル語版を活用しようかと考えていたところ、スペイン語が分かる講師がいて、翌週から担当が代わりました。媒介語を使うことに対して賛否ありますが、初級の学習者で時間数が少ない場合、学習者の負担を少なくし何より大きな安心感があると思います。新人の私も居心地のよいゆったりした雰囲気の教室で「ありがとうございました」の言葉が嬉しくて楽しく通っています。



### ◎「ボランティア日本語教室ガイド」 最新版を2014年3月に発行予定

東京日本語ボランティア・ネットワークは、都内で活動しているボランティア日本語教室を紹介する「ボランティア日本語教室ガイド」の最新版を2014年3月に発行します。

この度、東京ボランティア・市民活動センターから「2013年度 ボランティア・市民活動支援総合基金助成(ゆめ応援ファンド)」の助成を受けることが出来ました。

本助成により、東京都内のボランティア日本語教室の活動

の現状を調査し、結果を下記の2冊子に分けて作成します。

- ①「ボランティア日本語教室ガイド2014 東京」
- ②「東京都のボランティア日本語教室の現状調査報告書」

上記の調査のため調査票を都内のボランティア日本語教室宛にお送り致します。

調査票が届きましたら、主旨をご理解の上、ご協力をお願いします。

「ボランティア日本語教室ガイド2011 東京」では、179団体(231教室)の教室案内を掲載しました。

TNVNでは日本語を学ぶ方を求めている方々に、都内の各地で活動しているボランティア日本語教室を、一つでも多く紹介できる事を願っています。

上記「ガイド」に掲載されていない教室がありましたら、TNVN事務局宛にご連絡をお願いします。

### ◎2013年度の運営委員会(第1回)を開きました。

日時:7月12日(金)18:00~20:00 場所: TVAC ロビー

本年度の運営委員は武貞明子さん(東久留米にほんぐラス/東久留米市)、坂本弘一さん(かけはし/足立区)、石橋穠治さん(日本語サークルくりはら/足立区)、中山真理子さん(中野区国際交流協会/中

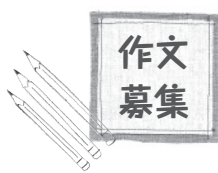
野区)4名の方々に引き続きお願いしました。

会議は運営委員に役員・スタッフを含め9名が参加、TNVN2013年度計画の概要を確認したのち、各団体・教室の活動報告と意見交換をしま

した。

教室運営の進め方や悩み、学習者・ボランティア相互の交流を充実するため独自の行事・見学・クラブ活動等、それぞれの工夫と努力が活発に報告されました。

### TVACよりお知らせ



### ◎きずなづくり大賞2013

——地域と家族の「つながり」を強めよう——

家族や地域の「きずな」を感じた体験文を募集しています。

詳細は、ホームページで。 <http://kizunazukuri.net>

- 問合せ先/社会福祉法人東京都社会福祉協議会  
東京ボランティア・市民活動センター「きずなづくり大賞」事務局(天野・池田)
- 締め切り/平成25年9月29日必着

### column 言葉は道具

夏休みで、孫たちがパリから里帰りしました。親の仕事の関係ですとパリに住んでいるので、1年ぶりの再会です。

11才の孫は、仏語と英語で勉強する学校に通っています。仏語は幼稚園の時に覚えたけど、英語は数年前に習い始めたようなので、「英語の勉強は面白い?」と聞きました。孫曰く、「英語は勉強してないよ。勉強するとき使っているけど」これにはギャフン!です。

いつも「日本語は日本で生活するための道具」と、言っているくせに、なんと馬鹿なことを聞いてしまったのでしょうか。和食を食べるときには箸を使い、洋食ではナイフと

フォークを使う。算数を勉強するときには英語を使い、歴史を勉強するときには仏語を使うということは、孫にとって箸とフォークを使い分けるのと変わらないのでしょうか。ですから、おばあさんの顔を見たら自動的に日本語に切り替わるのです。おばあさんは孫の流暢な仏語を聞いてみたいのに、なかなかその願いは叶えられません。

(RH)



TNVN 東京日本語ボランティア・ネットワークはボランティア日本語学習支援活動を行っている団体のネットワークです。TNVNの会員はそれぞれ地域での日本語学習支援活動を通して、言葉のため日常生活に不自由を感じている外国人などを、隣人として支援しています。TNVNは会員への情報提供・会員相互の情報交換、および外部との情報受発信を行い、活動の活性化を図ります。

### 東京日本語ボランティア・ネットワーク事務局の活動

- ◆日時: 毎週金曜日  
第1、第3 金曜日/午後2時~4時  
第2、第4 金曜日/午後2時~6時  
第5 金曜日/休み
- ◆場所  
東京ボランティア・市民活動センター  
JR、地下鉄(東西線・有楽町線・南北線・大江戸線-出口 B2b) 飯田橋駅下車 セントラルプラザビル 10F ロビー
- ◆日本語ボランティア相談窓口  
日本語ボランティアの活動についてのご相談・ご質問にベテランスタッフがお応えしています。メール・電話でご確認の上、気軽にお越し下さい。また、メールでのお問い合わせにもお応えしています。ご意見もお待ちしています。  
〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸 1-1 東京ボランティア・市民活動センター メールボックス No.4  
●TEL: 03-3235-1171  
(呼出: 金曜日活動時間帯のみ)
- FAX: 03-3235-0050
- E-mail: [webadmin@tnvn.jp](mailto:webadmin@tnvn.jp)
- URL: <http://www.tnvn.jp/>
- 郵便局払込  
口座番号: 00100-1-719259  
加入者名: 東京日本語ボランティア・ネットワーク

- 新会員紹介  
正会員/日本語サークル「わかば」(世田谷区)  
小平市国際交流協会(小平市)  
個人協力会員/前田 和子、久保田 成子
- 会員数(2013年7月31日現在)  
正会員: 80団体、団体協力会員: 2団体  
個人協力会員: 15名、賛助会員: 4団体
- 編集/大木千冬、岡田美奈子、小川伶子、梶村勝利、床呂英一、林川玲子、山本英子
- レイアウト/鶴田 環恵